読むと室町のまちが♥好き♥になる

室町学区ニュース

上京区社協が発行する、コロナ禍における学区内の動きをお伝えするニュースです。

No.1　Sept.2020

コロナ禍の中でも、安心して暮らし続けられるまちづくりが、室町学区では行われています。

室町学区では今日も、3 密や衛生面に気を配りながらまちづくり活動が行われています。
今回は、室町社会福祉協議会が 6 月 26 日に行ったふれあい配食の様子を紹介します。

◎「顔をあわせれば、相手の方が元気にされているかがわかる」

今回の取材では、配食を届ける方に同行させていただきました。こちらの方は、ご自身も配食を利用されている方です。

――コロナになって、困ったことはありますか？

大きな困りごとはありませんけれど…あまり外に出なくなったかもしれませんね。だからこういう、外に出る機会はありがたいですね。

――配食を届けるようになったきっかけは？

誰に頼まれたわけでもないんですよ。すぐ近くにお住いの方も利用されているとお聞きし､｢それなら届けますよ｣と私が言って、届けるようになりました。

――お弁当を届けるとき、大切にされていることはありますか？

お会いすれば立ち話に花が咲きます。コロナの世の中であっても、お顔を見てお話しすることが大切だと思うんですよ。お顔をあわせれば、相手の方が元気にされているかどうかもわかりますし、私のことも相手の方にわかっていただけますからね。

◎「集まりに参加することで、人と顔をあわせることで、人は元気になる」

室町社会福祉協議会 藤木会長にお話を伺いました。

ふれあい配食は見守り活動にもなるので、コロナ禍の間も実施していました。うちの配食は、①業者が 6 か所の基地（担い手宅）に配達 ②各町の担当者が基地に取りに来て配る、という流れで実施しています。配る方の中には、今回取材していただいたような元気な配食利用者さんもいらっしゃいます。

夏以降、コロナ禍の様子を見ながら、他の活動も順次再開していく予定です。集まりに参加することで、人と顔を合わせることで、人は元気になると思います。ぜひみなさんもご参加ください。

配食の帰り道、取材させていただいた方はお庭の鉢植えを見せてくださり、「毎日楽しめることを見つけて暮らしていきたいですね」と話してくださいました。

上京区社協には、区民の方から「コロナ禍でも、見守り活動などをしていると知ってほっとしました」などのご意見をいただいています。

活動の内容は、コロナ禍の状況により変更となる可能性があります。
最新の活動は上京区社協（Tel:432-9535）までお尋ねください。

＼反対側の面も、ぜひご覧ください！／